高校部のご案内

◆◆◆◆キュービックの特徴◆◆◆◆

≪高１・高２≫

★学校の進度に合わせた受験準備！

キュービックでは、常に学校の進度を意識して、そのときに**生徒が本当に必要としている内容**を授業で扱っていきます。ただ聞いているだけの授業ではありません。本当に理解できているかどうかを確かめるために、**先生から鋭い質問**が飛んできます。**決して気を抜くことのできない濃密な授業**を継続的に受けることで、今までには思いもよらなかったほどの実力ＵＰを体験することでしょう。
（学校によって一部進度が合わない場合も、しっかり補講で対応しています。）
また、早めに本格的な受験準備をしたいと考えている生徒のために、
『英文法［発展］』『古典（発展）』のクラスもあります。

大手の予備校にも現役生対象のクラスはありますが、もちろん、学校の進度とは全く無関係に授業が進みます。**大教室の授業は、たとえだれかがわかっていなくても決して待ってはくれません。**さらに、高校の高度な内容を学校と塾の二本立てで進めるのは、かえって負担が重くなるばかりで効率的ではないでしょう。

（大手予備校の、マイクを使って大教室でおこなわれる授業に過度の期待を持ってはいけません。予備校の難問解説の授業は、あらかじめ相当な学力を備えている生徒にのみ有効なのであって、ただ聞いているだけで全てがわかるようになるという性質のものではありません。**予備校をうまく活用して大学に合格できるのは、大勢集まってくる生徒のうちのごく限られた人である**、ということを忘れてはなりません。）

★手遅れにならないうちに始めよう！

ここ数年、どの高校も、大学への進学実績を上げることを念頭に、授業内容の向上に力を入れているようです。ただし、この方針は、**学力上位の生徒に指導を特化し、内容を理解できない生徒については顧みない**ことを意味します。進学校と言われる高校でも、全国模試の校内平均得点率が40～50％であることを考えると、**各高校のトップクラスの生徒しか、有名大学に現役で合格することはできない**でしょう。各高校の平均的な成績に満足することなく、より高いレベルで受験対策を始めなければなりません！ 塾で高度な知識を得たあと、高校で基本の確認と復習をする、というリズムで進めるのが理想です。

★やっぱりあります、定期試験対策！

定期試験の前には、通常授業以外に、**試験範囲に合わせた対策補講**があります。英語では、学校のテキストの英訳等に関する質問の受付・文法問題の解説などをおこないます。数学では、高校で渡されている教科書傍用の問題集等に関する質問を受け付けます。学校の教科書やノートで、わからないところの解説もします。
英・数以外の科目も、相談に応じます。